

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公表番号】特表2008-526548(P2008-526548A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-549458(P2007-549458)

【国際特許分類】

B 2 9 C 47/14 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 47/14

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月12日(2008.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

押出物品の形成方法であって：

(a) ダイ内の流路に沿って溶融流を押し出すこと；

(b) 入口開口部と、出口開口部とを有するダイインサー^トを提供することであって、前記入口開口部が非直線状であり上方境界から下方境界までの間に延在し；

(c) 前記ダイインサー^ト入口において前記流路の少なくとも一部に沿って、前記ダイインサー^ト入口が前記溶融流の少なくとも一部を遮断することによって、前記溶融流の少なくとも一部が再分布されるように、前記ダイ流路内の前記溶融流を前記ダイインサー^ト入口内に押し出すこと；

(d) 前記ダイインサー^ト内で前記再分布した溶融流を集束させること；

(e) 前記ダイインサー^ト出口開口部において、前記ダイインサー^ト内の前記溶融流の再分布が原因で性質または材料が変化する、前記溶融流の少なくとも1つ以上の領域を形成することとを含む、方法。

【請求項2】

前記溶融流流路および前記インサー^トが前記ダイ出口にある、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記溶融流が、異なる成分の2つ以上の領域の多成分溶融流である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

ポリマー材料の少なくとも1つの層を含む押出物品であって、前記層は、前記物品の長さに沿った、異なるレベルの溶融流配向を有する、押出物品。